

2022年10月1日 から **有機酒類** に



有機JASマークの表示が できるようになりました!

有機酒類は、これまでJASの対象とされていませんでしたが、JAS法が改正され、2022年10月1日から有機加工食品のJASの認証を取得し、有機JASマークの表示ができるようになりました。

有機酒類の表示には有機JASマークが必要なの？

2025年10月1日以降、酒類に「有機」、「オーガニック」等と表示するには有機JAS認証を取得し、有機JASマークを付すことが必要になりました。

2022年10月1日から2025年9月30日までは、有機酒類の表示は以下の2通りの方法が認められています。

輸入品についても同様です。

- ①有機加工食品のJASの認証を取得し、有機JASマークを貼付の上、表示を行う。
- ②国税庁の「酒類における有機の表示基準」※に従い表示を行う。
(有機JASマークの貼付は行わない。)

※「酒類における有機の表示基準」は2022年10月1日に廃止となりましたが、2025年10月1日までの間、引き続き廃止前の基準を適用できる措置が設けられています。輸入品についても同様です。

どんな効果があるの？

- ・国内市場においては、有機酒類について、他の有機加工食品と同様に有機JAS認証が必須となり、消費者は有機JASマークに基づく合理的な商品選択をすることが可能になります。
- ・海外市場においては、有機酒類の同等性を海外の主要市場国・地域と相互承認し、有機酒類の輸出拡大を目指します。

参考：[有機同等性についてリンク](#)



お問合せ先

農林水産省 大臣官房 新事業・食品産業部 食品製造課 基準認証室
ダイヤルイン：03-6744-7139